

## 対象地

白川「緑の区間」

所在地 : 熊本市

白川-明午橋~大甲橋間  
両岸河川敷



## 概要

熊本市内を流れる白川の明午橋~大甲橋間は、緑も多く、中心市街地に近いこともあり多くの市民に親しまれています。また、大甲橋から立田山への眺めは白川両岸の緑とあいまって、素晴らしい景観を創りだしています。このように熊本の財産である、明午橋~大甲橋間において、国土交通省では白川河川改修の一環として、河川整備を計画しています。この計画は、河川の拡幅を伴う大規模な工事となる予定です。そこで、この国土交通省の河川改修案を踏まえ、対象となる白川の明午橋~大甲橋間がもつ魅力をより活かした、現在よりも市民に親しまれる河川改修案を提案しました。

まず、学生同士で現在の白川に対する意見を出し合い、それらをいくつかのグループに分け、計画の構想を固めていきました。つぎに、8人の学生を3班に分けて現地調査などを行い、各班でコンセプトを決めてデザインをしていきました。



上/A案

「森の都の緑」「熊本城の石垣」をイメージした、熊本にふさわしいデザインをした。

左下/B案

水害の記憶を払拭するための「強さ」「安心感」をデザインした。

右下/C案

中心街(右岸)と住宅街(左岸)の相対する空間を白川を中心にデザインした。



▶ 計画案の図面

▶ A案-左岸緑地公園の模型

▶ A案-落差工の模型

▶ 学内での発表会

## 備考

参加者 : 男6名・女2名 計8名

URL : <http://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/wildcat/2002/article/civil/civil001/WWW/>